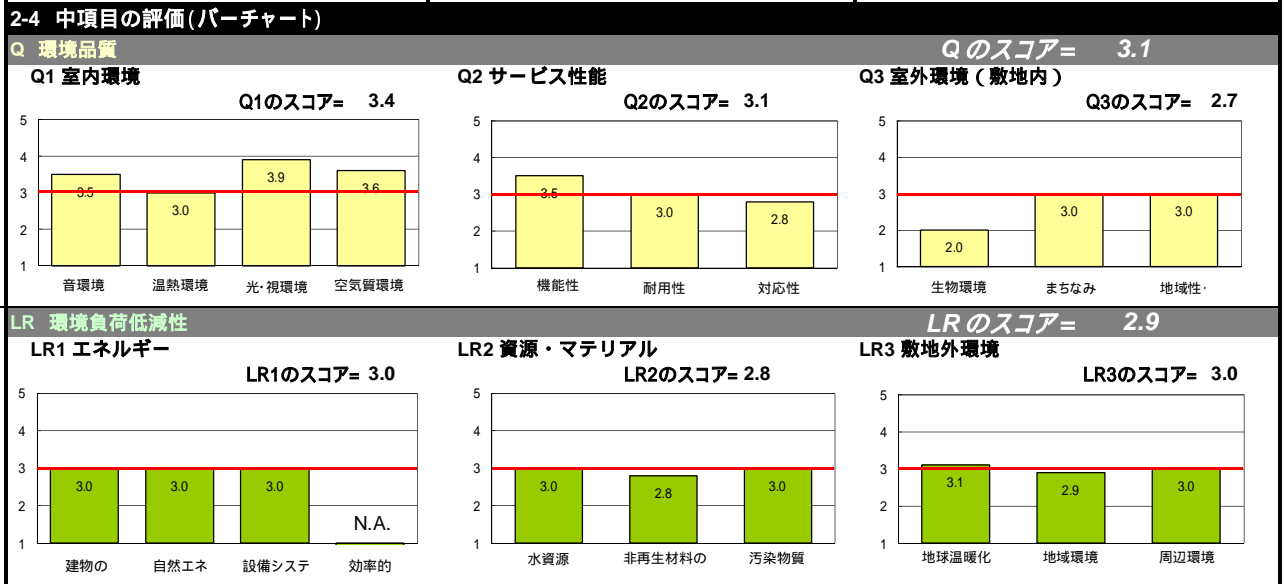
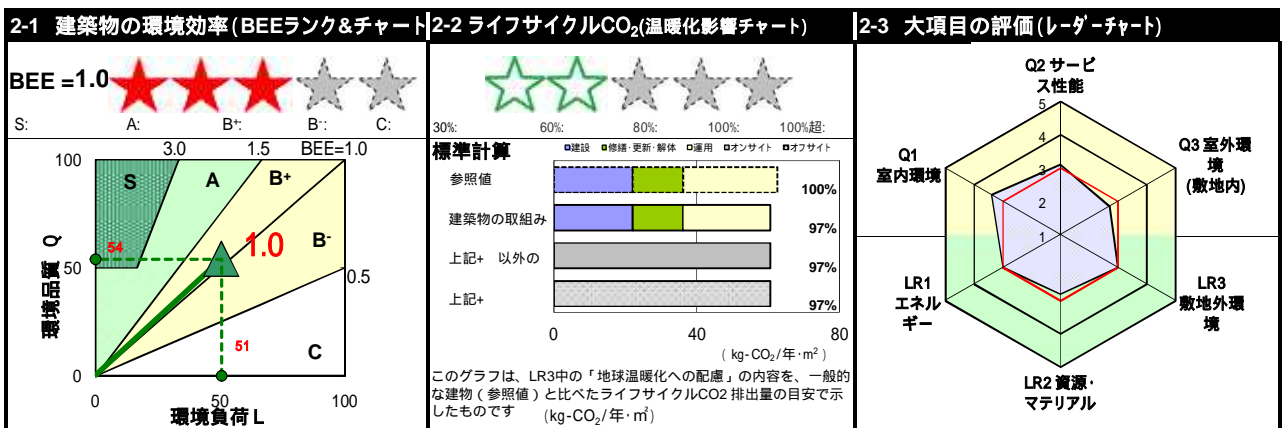


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市淵野辺3丁目	階数	地上11F
建設地	相模原市中央区淵野辺3-133-204	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	90人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年12月4日
敷地面積	480 m ²	作成者	グラフィス設計
建築面積	245 m ²	確認日	2013年12月4日
延床面積	2,497 m ²	確認者	グラフィス設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
周辺の住環境に配慮しながら、環境負荷の軽減に努める	0	
Q1 室内環境 防音性能を高め、室内の防音化に努める	Q2 サービス性能 バリアフリーに配慮し、建物の使いやすさを高める	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内に極力空地を確保し、共用部分にゆとりを持たせる
LR1 エネルギー 住戸内の断熱性能を高め、建物の断熱化を図る	LR2 資源・マテリアル 非再生性資源の使用量を削減に努める	LR3 敷地外環境 外部照明の増設に努め、防犯活動に協力する

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される